

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 公共施設駐車場整備事業（緊急雇用創出推進事業）
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名 称
章	9	
節	9	
施策	9	
小分類	9	
主要な施策	9	
事務事業番号	272	事務事業コード 99999272 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	公共施設駐車場整備事業(緊急雇用創出事業)
------	------	------------	-----------------------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <p>離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年齢者等の失業者</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>公共施設の駐車場の白線塗装業務を民間に委託し、厳しい雇用失業情勢に対する雇用確保するとともに、施設利用者の安全確保を図る。</p>
目指す姿 (成果)	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <p>公共施設を利用する市民の安全の確保を図るとともに、非正規労働者や中高年齢者等の失業者の、次の雇用までの短期雇用や就業機会の創出・提供、人材育成を図る。</p>
根拠法令等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> <p>緊急雇用創出事業臨時特例交付金交付要綱(国) 緊急雇用創出推進事業補助金交付要綱(北海道)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	雇用者数	人	目標値	6				
			実績値	6				
	白線塗装駐車台数	台	目標値	1,459				
			実績値	1,459				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	5,502					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				5,502	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	264	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		264	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
北海道が雇用創出を目的とした補助事業を活用した単年度事業が終了し、単独事業としての実施が難しいため。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
非正規労働者の雇用と公共施設駐車場整備が図られたため。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
事業が終了したため。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
事業が終了したため。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	同事業は北海道の補助金を活用したもので、同補助事業については単年度であるため。
----	----------------------	-----------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）